

また、上記のお仕事以外でも私はこんなことできますよ！あんなことがやってみたい！というお申し出も大歓迎です。

時間もお待ちしております！

で、お好きな時にお好きな時間でボランティアに関わることが可能ですのでご相談ください。

アイーナ6階のNPO活動交流センターでは、簡単な作業に携わるボランティアさんを募集しております。

主に、新聞の切り抜きやNPOに関する記事をメーカーで囲んだりする作業をお願いしています。現在、ボランティアさんも数名活躍中です。主婦の方、勤務後の空いた時間をボランティアに充てている方、学生さん、休日の余暇を社会貢献に使ってみたい方…どんな方でもお待ちしております！

Info.

NPO活動交流センターからのお知らせ

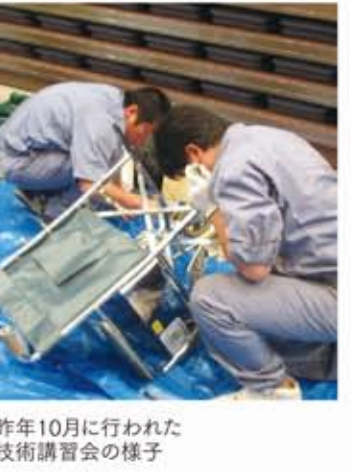
運営ボランティア募集のお知らせ

岩手県社会福祉協議会
ボランティア・市民活動センター
からのお知らせ

使用済切手・プリペイドカード・書き損じはがきの提供にご協力を！！

●お問い合わせ先
NPO活動交流センター
盛岡市盛岡駅西通1-7-1
いわて県民情報交流センター
(アイーナ) 6階
TEL: 019-606-1760
URL: <http://www.ainajp/npo/index.html>

「切手」切手のまわりの余白を5ミリ残してカット！「プリペイドカード」図書カード、クオカード、バスカード、テレビカードなど。「書き損じはがき」年賀状でも構いません。そのまま捨てずに、岩手県社会福祉協議会 ボランティア・市民活動センターまでご提供ください。



昨年10月に行われた技術講習会の様子

●お問い合わせ先
岩手県社会福祉協議会
ボランティア・市民活動センター
TEL: 019-637-9711
FAX: 019-637-7592
URL: <http://www.wate-volunteer.jp/>
URL: <http://www.wate-shakyo.or.jp/friends/index.html>

ずかであったといわれている石垣とも消失している。この歴史的財産である浮牛城址及び周辺の環境整備をさらに、大前行列と民俗芸能公演をメインとして、毎年8月16日に開催している町の最大イベントである「浮牛城まつり」に県内外から沢山の人が呼べるような観光地としていきたい。昨年の浮牛城まつりではのど自慢大会等も行った。



●浮牛城址の春



●(上)生活支援除雪(下)ボランティア輸送

○これまでの活動の課題
活動の柱であるボランティア輸送、「店っこくちない」の運営及び特産品の開発と販売には人件費と運営資金が必要不可欠であるが、その支出を補う資金の確保に苦慮している。今は、いろいろな助成をみつけてカバーしているが、その企画提案書作成

○今後の抱負
活動の主な事業は、町民の皆さんにとって日常生活に必要なこと且つ、理解と期待があるので継続して行かなければならない。最大の課題である資金の確保は、ごしゅ芋を使用した、更なる特産品の開発と安定した販売と考案力を入れていきたい。将来は、助成金にはあまり頼らない財政力を持つようにしたい。

と実践に追われている状況である。また、いろいろなイベントを実施するには人手が必要、これからは特に若い力が必要なので、若い人の会員を増やすことが急務と考えている。

○観光名所としての「浮牛城」とイベント
「浮牛城」の由緒(いわれ)は、安倍貞任が築城の際、生き牛三頭を埋めて地鎮をしたことで命名されたといわれている。「浮牛城」は、高さ30メートルの小山で山城は東西200メートル・南北130メートルの平山城で、本丸・二の丸があり、周囲は水堀り・空堀り・土塁・矢来がめぐらされている。現在は、建物(御書院)やわ

●NPO法人くちない
〒028-8201
岩手県北上市内町新町67
(口内地区交流センター内)
TEL: FAX: 0197-69-2001
<http://www.kuchinai.org/npo/index.html>

「NPO法人くちない」
事務局長 菅野 甚一さん

北上市口内町の良さを次世代に伝えるとともに、存在するさまざまな課題を住民自らが解決することにより、口内町が明るく豊かな生活の実現に寄与することを目的に、「NPO法人くちない」が設立された。菅野さんに話を聞いた。

伊達藩最北の藩境のまち

”くちない”



●菅野さん(左側)と佐藤さん(事務局)

菅野 甚一さん プロフィール
平成18年4月北上市役所退職(当時55歳)後口内地区交流センター事務局長を経て現在同センター長。平成21年3月「NPO法人くちない」を設立し事務局長。

○町民ボランティアによる輸送の実施
高齢者等の交通手段の確保として、町民が待ち望んでいた「ボランティア輸送」を、平成22年9月27日より運行を始めた。

○町内型運行(過疎地有償運送)
口内町民を対象とした、自宅から口内町のバス停・各種施設までの送迎サービス。

○福祉型運行(福祉有償運送)
口内町民で、認定基準を満たした人を対象とし、自宅から医療機関、金融機関等生活に必要な交通のサポート。市街地への送迎。

○組織が立ち上がった経緯
口内町は、高齢化率上昇(10年間で10%増)、人口の減少(10年間で15%減)、少子化(自然増・転入者が望めない)が進んでいる。この現状が進行すれば、農山村機能低下とコミュニティづくりの進展に支障をきたしてしまい、地域内で享受できる社会サービスの低下を招いてしまう。そこでこれらの問題を住民自らの手で解決するため、平成21年3月に「NPO法人くちない」を設立した。

現在は主に、町民ボランティア輸送、スクールバスの運行業務、「店っこくちない」の運営、特産品の開発及び販売、生活支援除雪及び小修繕(高齢者宅等)等の活動を行っている。

○特産品の開発及び販売
まち興しの一環として、口内産の「ごしゅ芋」を使った特産品北上くちない「ごしゅ芋コロッケ・ごしゅ芋餃子」を開発し販売に力を入れ、一昨年からいわてB級ご当地グルメに参加している。

「ごしゅ芋(五升芋)」とは、当地区の昔からの呼び名で、一般的には「菊芋」といわれている。かつては、当地区でも漬物等に利用されていたが、あまりにも増殖力が強いため邪魔者、厄介者扱いされるようになった。

○町の活性化を図る「店っこくちない」
平成23年4月にオープンした、高齢者等が日用品の買い物ができる「店っこくちない」は、月曜日から金曜日の9時から16時まで営業しており、営業スタッフが、直接お客さんのニーズを聞いて商品の仕入れをしたり、宅配サービス、各個人商店等からの委託販売等を行っている。店内に25年1月に完成した厨房により、惣菜類の製造・販売も行っている。

小中学生を学校へと送迎する、スクールバスの運行業務もしている。

「ごしゅ芋コロッケ・餃子」を口内の特産品を目指して、平成23年5月頃から販売を始めたが、まだ日も浅く、PR不足もありまだまだ市内、県内に知られていない。1日も早く市内・県内外の多くの方々に知って頂き、味わって頂けるように頑張りたい。商品の販売は、「店っこくちない」と産直「あぐり夢くちない」で販売しており、食べて頂いたお客さんに大変好評である。

くちないの産品を自分で買ったごしゅ芋で作りました
ご賞品にこちらのおセットはいかがでしょうか

北上市産 北上市産
ごしゅ芋コロッケ・餃子

セット内容
ごしゅ芋コロッケ 1個
ごしゅ芋餃子 1パック(12個入り) ×2

送料別 3,000円
(送料別、送料、送料、送料)

代金引当
●お振込先
●お振込先
●お振込先

〒024-0211 岩手県北上市口内地区交流センター
TEL: 019-637-9711 FAX: 019-637-7592



●(上)口内特産ごしゅ芋コロッケとごしゅ芋餃子
(下)いわてB級ご当地グルメ出店